

# 「新世代」の民進党

立ち向かう。提案する。  
「蓮舫路線」に

期待してください。

R

## 「ガラスの天井」を突き抜ける

アメリカでは「ガラスの天井」と人生をかけて闘ってきた女性がいよいよ大統領になる一歩手前まで来ました。イギリスでもサッチャー首相以来の女性首相が選出され、欧米のみならず、韓国も台湾もトップは女性です。そして、東京でも初の女性都知事が誕生しました。世界経済フォーラムの男女格差指数で145カ国中101位の日本。女性議員の私が先頭に立って変えていきます。

野党第一党が目指すのは政権交代です。ところがその言葉が現実味を失っています。私達が政権を担い、内政・外交を安定的に運営するのが不可能であるかのように思われています。それはもう一つの「ガラスの天井」です。そこを変えたい。民進党はそのために結党されました。若手・地方も含め党の力を結集し、弱点を克服し、批判ではなく提案へ。国民の皆様からの支持向上に全力で取り組みます。

## 「蓮舫路線」とは

問われているのは民進党であり、私です。他の何者でもありません。他者との関係で自らを語るのではなく、自らによって立つ原理原則をはっきり打ち出す。それが「蓮舫路線」です。党の内外に声をかけ、手を差し伸べ、提案し、叡智を集めたいと思います。ですが、最後に決めるのは私です。責任を負うのも私です。その重い責任を担う決意と覚悟を持ったからこそ、今回、出馬したのです。

## 納税者の味方

「行革なくして増税なし」、行政改革をライフワークにできました。東京オリンピックにかかわる新国立競技場のコストの問題も国会でいち早く取り上げました。政治は納税者のためにあるものだからです。前例踏襲と惰性に陥りがちな行政運営を断ち切るのが政権交代です。明日をも知れないバラマキの連鎖を止め、政治改革と行政改革を同時に進め、納税者である国民の皆様への納得と信頼を取りもどします。

納税者のために政治はある。きちんと安心をもたらす社会保障の給付を建て直していかなければなりません。硬直化した制度にメスを入れ、国家的課題である子育て支援や貧困対策に財源を投じ、全世代共通の安心を確保します。納税のリターンを実感できる、将来の納税者を育てる、こうした「人への投資」は経済成長の源泉でもあります。その意味でも、私は「納税者の味方」でありたいと思います。

高飛車かもしれませんが、女性の先駆者であるエレノア・ルーズベルトの“Do what you feel in your heart to be right - for you'll be criticized anyway.”（あなたの心が正しいと思う事をしなさい。どっちにしたら批判されるのだから）という言葉の心を支えにしたいと思います。あらゆる批判を引き受けて、強く、たくましく、そして、しなやかに、民進党を政権交代へと引っ張っていきます。蓮舫への皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。